



市男女共同参画推進委員会から意見書

つくばみらい市男女共同参画推進委員会は、本市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の推進に関する総合的な施策および重要事項について調査・審議していただいています。今回、委員会からは、市が策定した計画に基づく平成30年度の各事業の実施報告に基づき、男女共同参画社会のさらなる推進に向け、防災に関することや国際交流に関することなど市に対して意見書が提出されました。市では、この意見書をもとに、より一層の男女共同参画の推進に取り組んでいきます。

父と子の料理教室

市内にある相撲部屋「立浪部屋」の力士3人にご協力いただき、父親の家事・育児への参画推進とワーク・ライフ・バランスを目的とした料理教室を開催しました。当日は、立浪部屋力士の指導のもと、親子でちゃんこ鍋作りに挑戦しました。参加した皆さんからは「子どもと一緒に料理を行うことで、子どものいつもと違う一面を見ることができた」「本日の体験を活かして家でも料理してみたい」などの感想が寄せられました。



啓発キャンペーン

市民の方に「男女共同参画社会」実現のための協力を得られるよう、市内各所にて啓発キャンペーンを行いました(写真左)。また、図書館では男女共同参画に関する特別ブースの設置も行いました(写真右)。



中学生出前講座を実施

思考の柔軟な段階にある中学生を対象に、「男女共同参画社会」のあり方や取り組みを考える講座を実施しました。生徒からは「男だから、女だからといった思い込みで職業が制限されたらもったいない。思い込みで発言しないことが大切だと思いました」「男性でも家事をしてもおかしくなくて、女性が仕事をしてもおかしくないことがわかりました」などの感想が寄せられました。

女らしさ、男らしさではなく自分らしさを大切に

(令和元年度標語募集 中学生の部最優秀作品 伊藤 溪至さんの作品)

男だから女だからという理由だけで、やりたいことができなかったり、選択肢が狭められたりして個人が持っている能力を十分に発揮できないことがあります。それは結果として、社会の豊かさや活力を失わせることにもつながります。市ではそうした固定概念にとらわれない、男女共同参画社会の実現に向けて啓発事業などを行っています。今年度行った主な取り組みをご紹介します。



受賞者の皆さん

男女共同参画標語を決定

親しみやすいイメージがもてる作品を募集したところ、354点の応募があり、審査の結果、今年度の最優秀・優秀作品を決定しました。中学生の部で最優秀賞に選ばれた伊藤溪至さんは「性別に関係なく、自分の思うように生活できたらいいなと思います」と笑顔で話してくれました。また、高校生・一般の部で最優秀賞に選ばれた小関一矢さんは「2年連続の最優秀賞受賞はうれしいです。すべての人がより生きやすい世の中になればいいと思います」と期待を込めて話をしてくれました。

中学生の部 (敬称略)

最優秀賞	「女らしさ、男らしさではなく 自分らしさを大切に」	伊藤 溪至 (伊奈中学校1年)
	「見つけよう 私らしさ 開こう 私の道」	佐々木 こよみ (谷和原中学校1年)
優秀賞	「男でも女でも可能性は、努力したい」	柳橋 来海 (伊奈東中学校1年)
	「なくそうよ 勝手な決めつけ 助け合う社会へ」	菊地 まい (小絹中学校1年)

高校生・一般の部 (敬称略)

最優秀賞	「考えよう 自分の気持ち 相手の気持ち」	小関 一矢 (伊奈高等学校2年)
優秀賞	「ワーク・ライフ・バランス みんなの心がけで 社会が変わる」	大嶋 拓仁 (伊奈高等学校2年)